

令和2年度10月吉日

臨床検査学科 保護者の皆様へ

平素より臨床検査学科の教育に対しご理解を賜りましてありがとうございます。本年度も保護者会主催による保護者の皆様との個人面談を行うこととなりました。それに先立ち、今年度前期を振り返り臨床検査学科の様子を皆様にお伝えしたいと思います。

ご存知のように4月より大学では通常の授業形態である対面授業を全面的に中止し、オンライン授業であるオンデマンド形式の授業に舵を切りました。当初はPCを始めインターネット環境を整備するのに時間がかかり、各学生にこれら環境が整うのに8月中まで時間を費やしました。皆様のご協力をおもなことで後期からは対面授業も多くなりますが、より通信品質が高いオンライン授業が行えるものと考えております。

我々が最も心を痛めたのは、なんと言っても1年生です。大学に一度も登校しない不安を抱えながら、9月18日後期日程が開始され、この日、初めてふじみ野キャンパスに入構するに至りました。後期は最低でも週に一度は登校できるよう時間割を組み直したものの、今度は大学生活が始まる不安を抱くのだろうと心配しております。これに対して5名の専任の1年生クラスアドバイザーがオンラインでのホームルームを行うなど、ご息女・ご子息の悩みや不安に対処することになっています。

2年生、3年生および4年生も同様にオンデマンド授業で前期を乗り越えました。2年生は最も授業科目数も多く大変であったのではないかと思います。規則的生活が維持しにくい生活の中で自らを律することに苦労したものと推測致します。2年生・3年生は厳格な新型コロナウイルス感染対策の中、7月より対面の実習・演習が実施されました。国家試験に必須の科目であることから、3密を避ける形で実施され国家試験受験資格をクリア一致しました。4年生は、実質的な実験が出来ないまま、論文を使った調査研究という形で卒業研究が実施されました。実質的な実験や研究の出来ないまま、研究の面白さを体験させてあげられなかったことは教員一同悔いが残ります。

さて、後期において2年生は対面授業や対面実習で少しずつ大学構内での学習の機会が増えて参ります。3年生は病院実習が始まりますが、受入れ病院では新型コロナウイルス感染に最大限の注意を払って実習生を受け入れて頂けるようお願いしております。4年生は国家試験対策とともに就職活動が始まります。例年とは異なる就職活動等が予想され、オンライン面接等への配慮も必要になってくるかも知れません。これらに対し、教職員一同一丸となって取り組む所存ではありますが、ご息女・ご子息と直に接することができない状況が続きます。どうか保護者の皆様におかれましても、お子様にお声をかけて頂くなど宜しくお願い申し上げます。

臨床検査学科長

小松 博義